

Re LIVE THEATER
舞台映像上映 **Reライブシアター**

舞台芸術作品を「観に行く」から「やってくる」へ。
舞台芸術をもっと手軽に楽しんでもらうために、時を越えて舞台の名作が高画質の定点上映で蘇ります。

9/26 **+**【演劇】



撮影：細野晋司

10:30
上映

PARCO PRODUCE2024

『オーランド』

(2024年 PARCO 劇場にて収録)

上映時間：2時間 11分

※一幕：1時間 17分、二幕：0時間 54分

原作：ヴァージニア・ウルフ 翻案：岩切正一郎 演出：栗山民也
出演：宮沢りえ ウェンツ瑛士 河内大和 谷田歩 山崎一
ヴァイオリン演奏：越川歩

ヴァージニア・ウルフの傑作小説「オーランド」を、主人公オーランドに宮沢りえを迎え、岩切正一郎の翻案、栗山民也の演出で新たに舞台化！数奇な運命を辿りながら、国境を越え、ジェンダーを超え、自由にしなやかに真の自分を探求し続けるオーランド。16世紀から時代を超えて駆け抜けるオーランドを通じて、人生の詩的真理を現代に問いかける。



撮影：桜井隆幸

14:00
上映

ケムリ研究室 no.3

『眠くなっちゃった』

(2023年 世田谷パブリックシアターにて収録)

上映時間：3時間 10分

※一幕：1時間 48分、二幕：1時間 21分

作・演出：ケラリーノ・サンドロヴィッチ
出演：緒川たまき 北村有起哉 首尾琢真 奈緒 水野美紀 近藤公園 松永玲子 福田転球
平田敦子 永田崇人 小野寺修二 斉藤悠 藤田桃子 依田朋子/
山内圭哉 野間口徹 犬山イヌコ 篠井英介 木野花

劇作家・演出家のケラリーノ・サンドロヴィッチと、俳優・緒川たまきの二人が主宰するユニット「ケムリ研究室」の第三弾公演。“近未来を舞台にした大人のための寓話”をテーマに、20世紀初頭のヨーロッパを思わせるような懐かしさと異質な未来感、終末感が混在する不思議な世界の中で、恐ろしくどこか優しい人々の姿が描かれた。圧倒的な映像効果とステージングを駆使した緻密な演出で退廃的なディストピアの世界を立ち上げたケムリ流・異色のSF劇。

9/27 **日**【ミュージカル】



©この史代/コアミックス・東宝 製作：東宝

東宝ミュージカル (Wキャスト)

『この世界の片隅に』

(2024年 広島・呉信用金庫ホールにて収録)

上映時間：2時間 42分

原作：この史代『この世界の片隅に』(ゼノンコミックス/コアミックス)
音楽：アンジェラ・アキ 脚本・演出：上田一豪

10:30 上映

出演：大原櫻子 村井良大 桜井玲香 小野塚勇人 小向なる 音月桂 澤田杏葉 鞘 琉那 ほか

15:00 上映

出演：昆夏美 海宝直人 平野綾 小林唯 小向なる 音月桂 桑原広佳 増田梨沙 ほか

太平洋戦争下の広島県呉市に生きる人々の物語を通し、懐ましくも美しい人々の営みを繊細に描き出した、この史代によるコミック「この世界の片隅に」を、アンジェラ・アキの音楽によって初のミュージカル化。絵を描くことが大好きな主人公・浦野すずの視点によって、幼少期から結婚、そして幾多の苦難を乗り越えて自分の居場所を見つけていくまでの物語。

*受付開始は上映の45分前、客席開場は上映の30分前

スケジュール

9/26 **+**
【演劇】

10:30 PARCO PRODUCE2024『オーランド』
14:00 ケムリ研究室 no.3『眠くなっちゃった』

9/27 **日**
【ミュージカル】

東宝ミュージカル『この世界の片隅に』
(Wキャスト) 10:30 / 15:00

料金

全席指定 【演劇】各回 1,000円 (税込) 【ミュージカル】各回 1,900円 (税込)

*後方椅子席のご予約はお電話にて承ります。(三重県文化会館チケットカウンター) *未就学児の入場はご遠慮ください。

チケット取扱い

◎三重県文化会館チケットカウンター 電話 059-233-1122 (10:00～17:00 / 月曜または月祝翌平日休館)

◎三重県文化会館WEBチケットサービス「エムズネット」<https://p-ticket.jp/center-mie/>

◎ローソンチケット (Lコード：41509) <https://l-tike.com/>

発売日

7/11 **+** 10:00

会場

三重県文化会館 中ホール 〒514-0061 三重県津市一身田上津部田 1234

最寄駅：津駅 (近鉄名古屋線、JR紀勢本線、伊勢鉄道) ※津駅からは徒歩 (約25分) または三重交通路線バス (約5分)
伊勢自動車道「津IC」より約10分 / 「芸濃IC」より約15分

お問い合わせ

三重県文化会館チケットカウンター 電話 059-233-1122 (10:00～17:00 / 月曜または月祝翌平日休館)

舞台映像上映
Reライブシアター
とは？

「Reライブシアター」は、「舞台公演映像」と「劇場空間」を掛け合わせた新たな舞台芸術の鑑賞スタイルです。

一般社団法人EPADが全国の公立文化施設と連携して、舞台公演映像の上映活動を展開しています。

「誰かと肩を並べ、同じ時間を共有する」そんな体験は、劇場ならではの楽しさのひとつです。高画質で記録された定点映像を劇場空間で観ることは、まるで俳優たちが目の前にいるかのような錯覚をもたらします。編集を施さない定点映像だからこそ、生の舞台に触れたときの臨場感や高揚感を感じることができるのです。

EPADでは、「Reライブシアター」の取り組みが、舞台芸術の未来につながる新たな一歩になることを目指しています。

主催：三重県文化会館 企画：一般社団法人 EPAD

協力：公益社団法人全国公立文化施設協会

助成：文化庁 人材育成・収益化に向けた舞台芸術デジタルアーカイブ推進支援事業

文化庁

一般社団法人 EPAD